

今月の論語

黙して之を識し
学びて厭わず

口には出さないが、何でもよくわかっていて、そして学ぶことをちっともいやだと思わない。

今月の福宅放送は、東原岸倉中央校9年の水口瑠麗さんです

野の仏ギャラリー ⑳

観世音菩薩坐像

北多久町大字多久原



多久市郷土資料館長 藤井伸幸

屋根に宝珠を載せる石祠の中に安置されています。丸彫りの坐像で蓮華台はありません。頭部を布で覆い、丸顔に彫られています。未開蓮華が菩薩の肩に伸び、茎を両手で支えています。両腕に天衣が垂れています。市内の多くの石仏と異なり、片岩系の石材で造られています。観世音菩薩は民衆を広く救済するため、相手に応じて変化し、六観音や三十三観音などの分身を生み出しました。

銘「奉建立観世音」三元禄十六癸未年十一月十八日「人名」

- 菩薩は本来悟りを開く前の修行中の者を称します。
- 天衣はシヨール状の衣です。
- 銘の元禄十六癸未年は西暦1703年です。

連載

教育長コラム

ちよっとい話



「お腹をすかせた子どもたち」

国連は、5歳未満児の栄養状態を診断する為、上腕の太さを測定するメジャーを持つている。子の上腕でそれを輪にすると簡易診断ができる。深刻な飢え状態の子の上腕は、私の指が2本やっと入る位で胸が痛む。国内で、そこまで悲惨な状況はないが、私が出会った非行傾向の子の共通項は、お腹をすかせていることだった。

一方、忙しくても、食事を大切にしている保護者さんも多い。3時に起きてご飯とみそ汁を作って畜産の仕事に出かける父母、子は起きた順に籠に伏せてある茶碗に自分の分を用意して片付けもする。ただ4人兄弟の末っ子には、上の子たちが寄ってたかって世話をし、自分たちで登校した。また、深夜まで仕事をするお母さんの中には、眠らずに朝食を用意して子どもを送り出し、それから眠る方も少なくなかった。

「お仕事、ご苦労さん、自分も頑張るから」と、子は親の愛情を確実に受け取るみたいです。ご飯つて、お腹を満たすだけじゃないんですね。

教育長 田原優子

市民文芸

いもうとの夫警察官 癌癒えず
敬礼して死す 無念ならずや
浦野 嘉恵

オンライン 授業受けてる孫息子のいて
唐揚弁当届け励ます
梶原恵美子

欲しいものひとつに絞る そうすると
やはり答えは愛になります
野崎 隆幸

過ぎてゆく時のひびきのごとく聞く
夜半吹く風に風鈴の鳴る
川浪 信子

教え子らははるかの高みを翔んでいく
ただひたすらに己に生きて
尾形 節子

重たげに雨水をこぼす七変化
武富 律子

山里の五風十雨の青田かな
中嶋 清子

夏至の朝クロワッサンの焼き上がる
富樫 明美

白靴の走るグラウンド 声弾み
本村 則子

シーソーに右往左往のかたつむり
おおやはな

居眠りがテレビ消されて
眼を醒ます
西山 残月

早起きし独り占めた青い空
田中 正春

幸せの物差し身の丈程でいい
三塩不二子

何の音かわからないので やかましい
松下 修

見送られ曲り角まで背筋ピン
古賀 弘子

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《互選》

川柳 《多久川柳会 選者吟》